

現地活動の取り組みも今年で2年目となり、生物の保全活動だけでなく活動の輪を広げていくために、観察会や説明会などの開催にも取り組んでいます。

今後も、さらに協議会を活性化させていくために活動の輪を広げていきたいと考えておりますので、今後とも皆様方のご協力をお願いいたします。



■湿地再生・植生管理部会の活動状況

今年度、部会では「ミズアオイの再生」、「コツブヌマハリイの保全」「ヨシ群落の生物多様性実験」などの活動に取り組み、現地ではミズアオイやコツブヌマハリイなど様々な植物を見ることができました。

また、市民への啓発活動として観察会の開催や、部会委員のスキルアップを目的とした学習会などにも取り組みました。

7月に開催した学習会では、静岡大学の加藤英明先生を講師に招き『湿地外来生物の現状と対策』をテーマに、外来生物のミシシッピーアカミミガメなどの生態や植物に対する影響などについて学習し、9月の観察会では、ミズアオイの観察や植物と昔の暮らしとのかかわりなどについて地元の古老よりお話を聞きました。

今後は、12月11日に麻機遊水地の自然環境の魅力を伝えるためのリレートーク、パネルディスカッションを開催します。



11.10.23 ヨシの刈り取り作業



コツブヌマハリイ



ミズアオイ



11.7.24 学習会



11.9.23 ミズアオイ観察会

静岡北高等学校で自然再生事業についての出前講座を開催しました

静岡北高等学校では、麻機遊水地でホテイアオイに関する研究や、巴川の水質調査などの活動に取り組んでおり、今後協議会の活動との連携を図るために平成23年10月18日に静岡北高等学校で麻機遊水地の治水や歴史、自然再生に関する取り組みなどに関する出前講座を開催しました。

講座には約100名の生徒が参加し、事務局が話をを行った後に生徒から協議会と連携できそうな活動内容について提案をしていただきました。

～ 協議会と連携できそうな取り組み ～

- 外来種駆除を行いたい(17名)
- 現在行われている協議会の活動やボランティアに参加したい(12名)
- 清掃活動などを行いたい(8名)
- 水質調査、在来種や外来種の分布、種類等のモニタリングを行いたい(6名)
- 絶滅危惧種の保護、維持活動を行いたい(5名) など



11.10.18 北高での説明会

【麻機遊水地の自然再生に関する活動の支援、参加を募集しております】静岡県静岡土木事務所河川改良課

TEL:054-286-9363 FAX:054-286-9398

URL:<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/tomoegawa/>